

ワクワク ひろば

達者です！

①

真木・渋木地区の 発展に情熱を

山小根 池永 武雄さん



大畑小学校の庭に高さ約1.5mの「平和の鳩像」が建立されている。

この像の制作にたずさわった池永武雄さんは、「楔の会の発案です。母校には二宮尊徳翁の像より、時代にそった平和の鳩像を決定、横山先生や蘭先生の協力を得てつくりました。台座は会員が一人35個ずつ大谷山、花尾山、荒ヶ峠、音信川より石を採取しました。これは地区の団結と連帯感をあらわしています」と当時の苦労話をしてくれました。

楔の会は、真木渋木の楔になろうと41年4月に発足。会員は4名。

「単に酒飲み友達ですよ。真木渋木の発展のために、い

ろいろなことを」と発足の動機を。

現在は、テレビ共同受信設備、農村集団電話の架設などが整備されている。「まだまだやるべきことはたくさんありますね」と抱負を語る目にキラリと輝くものがあります。カラオケと旅行が大好きな池永さんが「私は病院に行つたことがないですよ」と自慢する。「健康の秘訣は、何事にも、くよくよしないこと。そして、心に余裕をもって、その時々臨機応変に対応することですよ」と話が少し雄弁になる。

「これからは、技術的研究もしながら、若い人たちを指導していきたいです」と意欲もろぞかせていました。

は大きな課題です。

3年前までは、肌着等配布していましたが、高齢者の問題は高齢者自身でも考えよう、そのために仲間づくりをとの考えで、会食に形をかえ今に至っている。

今回の会食は、赤崎グループや、福祉推進委員の協力で準備したが、将来的には高齢者自身の手作りによる会食を、

仲間達集合 ①

福祉の輪づくり

明治・大正の仲間達



中村 昭夫さん
(藤中自治会副会長)

藤中自治会は、高齢者の社会参加づくり仲間づくりを目的とした「高齢者の集い」を毎年2回開催している。

6月2日公会堂に70歳以上の高齢者24人が集い、会食しながら親睦を深めました。

藤中も例外ではなく、高齢化は進んでおり、60歳以上は18%と長門市平均をわずかず下回ってはいるが、高齢化問題

わいわい 連絡帳 ①

大畑小学校発



松野多希子さん
5年(山小根)

「むねがどきどきの朗読発表会」

5月31日に朗読発表会がありました。わたしは、『岩国の白へび』という山口県の伝説を蒲さんと朗読しました。

私にとって五回目の朗読発表会です。五回目だけみんなの前に立つと、まだむねがどきどきします。出番をまつ間がとて長く感じられました。

めあてを心の中で何度も唱えました。どの学年もお面で人物を分かりやすくしたり、読む人数を場面に合わせてかえたりと、様々な工夫がしてあって感心させられました。

会が進んで出番が近づくにつれ、むねのこ動もはやくなり音が聞こえそうでした。「失敗したり早口にならないかな」などの思いで、頭の中はいっぱいでした。でも、いまさらやめることはできません。練習の成果を出して力いっぱいがんばろうと、私は決心して読み始めました。3分と決まっているので、はやさを考えながら読みました。でも、ついあせってしまつて、早口になつたように思います。年に一度しか出られない発表なので、もつと上手に読みたかったです。

来年は小学校最後の朗読発表会になるので、反省を生かしてがんばりたいと思います。



風 「仙崎っ子との出会い」 ①

5月31日から6月11日まで、山口大学教育学部の4回生5人が、仙崎小学校へ教育実習生として着任しました。

約二週間、河野校長先生を始めとした諸先生方と、また

児童とのふれあいのなかで、仙崎小学校は、そして長門市はどのように写つたのか。

5人の実習生が思いを書いてくれました。5回にわけて掲載をします。